

令和元年7月定例記者会見要旨(令和元年6月27日)

1. 夏休み期間中のイベントのうち、アピールすべき新たな取り組みは

毎年、夏休み期間中のイベントについては趣向を凝らしており、文化振興課がよみきかせ会やモノづくり体験、天体観測などを行っているが、今年は坂出市にあった塩田の土をはじめとして日本各地の土を使ってステンシルで絵を描く「土絵具で絵を描こう」を開催する。また、昨年から始めた「甲冑講座」を今年も行う。

生涯学習課では「さかいでっこ探けん隊」を毎年実施している。今年はハンガリーカヌープリントチームの事前合宿が決まっていることもあり、府中湖カヌー研修センターで「親子でカヌー体験」を行ったり、交流の里おうごしでミカン狩りやピザづくりを行う予定である。また、「市内の工場見学と瀬戸内の島探検」では、工場見学とともに市最北端の櫃石島を訪れ、島の歴史や見どころを紹介する。

体験学習としては、「うどん打ち体験と国宝神谷神社を巡る」を開催する。今回は、有名店の店主にうどん打ち体験を指導していただける機会となっており、その後、坂出唯一の国宝である神谷神社の解説を宮司から直接説明していただくなど、本市の食と地域資源を一度に学べる内容となっている。

最後に、王越地区にあったとんぼランドを再整備した「新王越とんぼランド」が完成し、同地で香川県絶滅危惧種のトンボが確認されている。今後、トンボの数が増えてくることも予想され、自然環境学習や自然観察会などを開催していく。

2. 市議会議員の税金滞納に関する報道を受けての市長の所感は

大変遺憾なことだと感じており、税金から報酬や給与をいただいているという観点からも、市税を滞納しているということについては、残念なことだと思っている。徴収に関しては、関係法令に基づいて適切な対応をしていく。

また、議会において辞職勧告決議案が提出されることについては、議会として判断されたものでもありますので、コメントは差し控えさせていただきたい。